

調査依頼結果報告

2012年1月26日

検査製品

MONROE バンマグナム V1098
TOYOTA HI-ACE バン スーパーGL リア用
型式 U-LH113V
年式 初度登録 平成4年4月

検査要請理由

●オイル漏れ 走行距離約 4,300Km、装着後約 4ヶ月

検査内容

- ・ストローク検査
- ・倒立液だれ検査
- ・分解目視・測定検査

検査結果

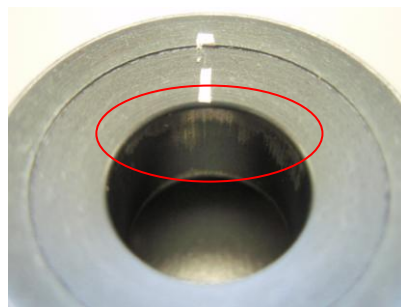
作動検査及び倒立液だれ検査において、ストロークに以上は見られず、異音・オイル漏れ等は発生しませんでした。倒立液だれにおいても1週間倒立状態にて放置(常温)しましたがオイル漏れ・滲み等発生しませんでした。

分解目視検査(写真①)において、インナーチューブ、ピストンロッド、オイルシール共に摩耗痕等も無く、実測定値もラジアル方向で $12.30\text{mm} \pm 0.05$ 以内に収まっており、インナーチューブ及びロッドの曲がりはありませんでした。

しかし、ロッドガイドには編摩耗が見られました。(写真②③) この編摩耗痕はピストンにも及んでおり、横方向に力を受けた状態でストロークしている状態が判明しました。(写真④) オイルシールも検査しましたが、シリコンの為、編摩耗等は見当たりませんでした。(写真⑤⑥)



写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥

調査依頼結果報告

同梱されたマウントブシュを検査したところ、かなりの変形と異常摩耗痕がありました。(写真⑦)
マウント下部のブシュ内部は楕円に変形し(写真⑧)、車両側のシャフトに発生した錆がブシュ内側に
付着していました。(写真⑨)

マウント下部のみではなく、上部のマウントも変形していました。

車両下にもぐり、取り付け形状を確認すれば分かると思いますが、上下マウントのブシュをきちんと
車両側に差し込んで取り付けを行えば、この様な変形が起こりる事はありません。



写真⑦



写真⑧



写真⑨



写真⑩



写真⑪

(結果総評)

検査した「ロッドガイド編摩耗」、「ピストン編摩耗」、「オイルシール変形無し」、「上下マウントのブシュの異常変形」を見ると、ショックアブソーバがずれて取り付けられていたか、車両側ホーシングが左右どちらかにずれていたか等、ショックアブソーバが横応力の掛かったままですトロークをした為に起きたオイル漏れと判断します。よって製品の不具合によるクレームでは無く、装着後の外的要因によるオイル漏れと判断します。

(参考)

代替品装着後であれば、取り付け状態の再確認を強く推奨します。現在も上下マウントブシュが変形する様な位置で装着されていた場合、今回と同じ「オイル漏れ」が発生する可能性があります。また、ブシュと車両側マウントの間に隙間が開き過ぎると、マウント下部に錆が発生し、最終的には鉄の腐食により強度が落ちて車両側マウントが破壊する恐れがあります。